

熊本高等専門学校ヒトを対象とする研究に関する論理委員会議事要旨

日 時 令和元年8月26日(月) 13:30~14:15

場 所 熊本キャンパス：大会議室、八代キャンパス：大会議室

出席者 熊本キャンパス

大塚教授、小田川教授、島川教授、永野教授、南部総務課長

八代キャンパス

田中(禎)教授、小田教授

欠席者 熊本キャンパス

小山教授

八代キャンパス

湯治教授

審査申請者 勝野准教授

議 事 令和元年度科学研究費助成事業の採択研究課題に対する倫理審査について

田中委員長から、資料に基づき、勝野准教授から倫理審査申請のあった経緯について事務部から報告願いたい旨の発言があった後、事務部から、資料に基づき、今年度採択された勝野准教授の基盤研究(C)「知的障害者とその家族のための大規模災害時における避難生活環境の構築に関する研究」について、日本学術振興会から、関連する法令等に基づき、研究機関内外の倫理委員会等の承認を得るなどの必要な手続き・対策等を行った上で、研究計画を実施する必要がある旨の意見が付された旨の報告があった。

次いで、田中委員長から、勝野准教授へ研究計画における法令、人権等への配慮について説明願いたい旨の発言があった後、同准教授から、大要、次のような説明があった。

- ・アンケート調査は、障害者本人に行うものではなく、その家族、行政、支援団体等へ行うものである。
- ・アンケートの内容については、アンケート対象である行政等に事前に提出し、内容を確認願うことにしている。
- ・個人情報の保護等、人権の保護に関しては、情報を電子化した上で、パソコンやUSBメモリなどの記憶媒体にて、パスワードにより管理し、紙媒体は、シュレッダーでの破棄を徹底する。
- ・パソコンやUSBメモリは、研究室から持ち出さないことを徹底する。また、USBメモリは、データを移動する際に使用する程度であり、ほとんど使用しない。

以上のような説明があった後、質疑が行われた。

《 質疑後、勝野准教授 退席 》

勝野准教授の退席後、審議が行われ、次のとおり判定した。

判定 「条件付き承認」とする。

条件 (1) アンケート調査について

- 1) インフォームド・コンセントについては、利用目的を明示した上で、書面による合意を得ること。
- 2) 関連法令や学内規則に準拠して行うことを明記すること。

(2) 情報管理について

- 1) 情報管理を徹底し、情報は、研究室から持ち出さないこと。
- 2) 研究協力者である学生には、書面にて、情報を持ち出さないことを確約させること。併せて、学生への関連法令に関する教育及びこれに基づく指導を行うこと。

以 上